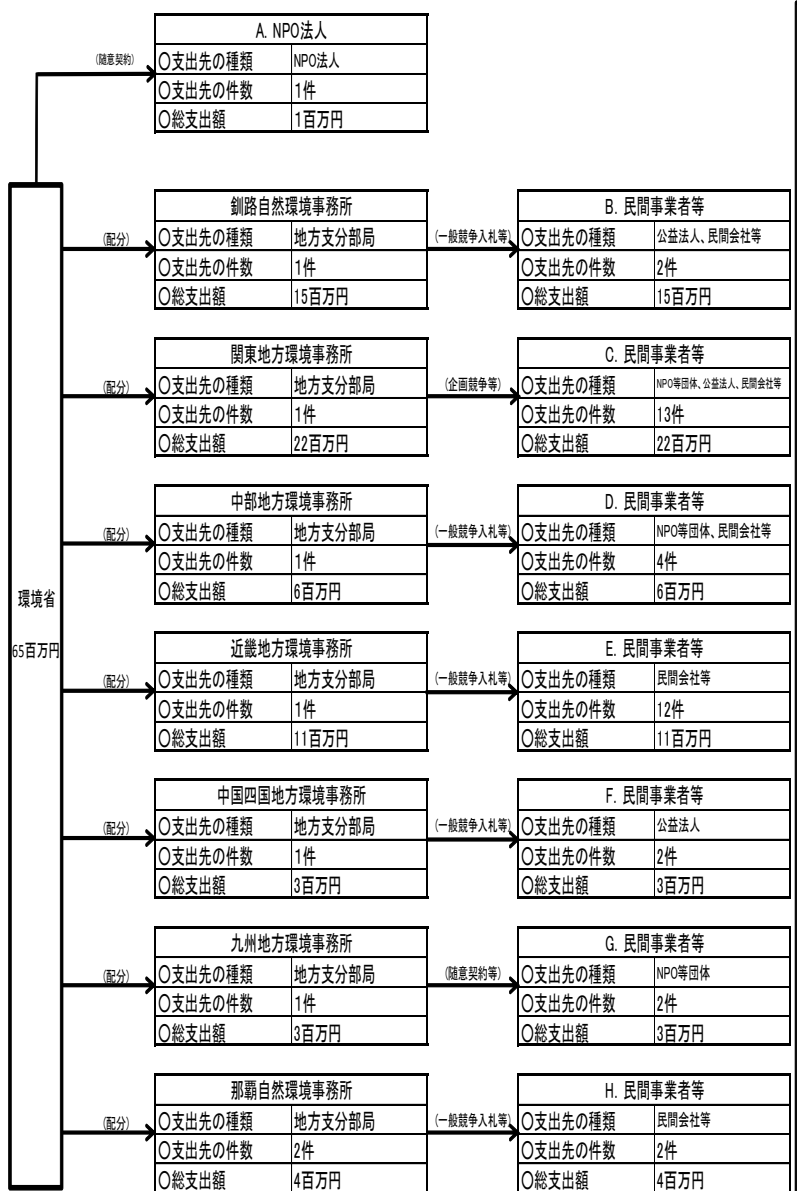


平成23年行政事業レビューシート (環境省)									
事業名	国立公園内生物多様性保全対策費			担当部局庁	自然環境局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度			担当課室	国立公園課			課長 上杉 哲郎	
会計区分	一般会計			施策名	5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	自然公園法第20条第3項 自然公園法第2条第7号 自然公園法第3条第2項 自然公園法第38条～第42条			関係する計画、 通知等	白山生態系維持回復事業計画 指定動物の選定要領 生物多様性国家戦略2010第2部第1章第2節2.3 国立公園における生態系維持回復事業取扱要領				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	国立公園において生物多様性の保全を推進することは、生物多様性条約COP10で採択された新・条約戦略計画(愛知目標)を達成する上で、喫緊の課題である。捕獲等により減少している動物については、指定動物への指定を推進し、指定後の監視体制や生息地管理等により、国立・国定公園内の指定動物の減少を防止する。また、生物多様性の保全を適切に行うため、保全等の対策を必要とする希少種や外来種の調査結果等を踏まえ、生態系維持回復事業計画を策定し、それに基づき予防的・順応的な対策を講じることにより、希少種や健全な生態系の保全を図る。さらに、過剰利用や人為による生態系の攪乱を防止するため、利用調整等の管理手法の検討及び実施を行うものである。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	国立公園の特別地域においては、高山蝶その他収集などの興味の対象となる動物の捕獲が行われ、風致の維持に支障が生じている。捕獲等の規制対象となる動物の指定を推進するために動物種の生息環境調査、減少要因の推定、保護対策の検討を行う。また、地域にとっての新たな外来種の侵入や、草刈り等の人為的な管理停止の影響により、高山植物群落、湿原や自然草原や、それらに依存する小動物類等による地域固有の生態系に影響が生じている地域において、希少動植物種等の生息・生育地の保全管理や地域外来動植物種の影響排除等、新たに自然公園法に盛り込まれた生態系維持回復事業により対策を実施する。さらに、国立公園のうち、石垣、知床、大台ヶ原において利用調整や立入規制による生態系管理手法の検討、利用調整地区制度の実施を行う。								
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	当初予算 補正予算 繰越し等 計		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
			44	55	68	55	55		
			0	0	0	0			
			0	0	0	0			
	執行額		43	52	65				
	執行率(%)		98	95	95				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			成果実績 達成度	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	国立公園において、捕獲等の規制の対象となる動物の指定の推進、希少動植物種等の生息・生育地の管理、生態系維持回復事業の実施、利用調整等の管理手法の検討等、多様な手段により生物多様性保全の質の向上を図る事業であるため、その成果を定量的に示すことは困難である。				—	—	—	—	—
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国立公園内生物多様性保全対策事業地域数				箇所	8	9	11 (11)	— (11)
単位当たり コスト	活動実績としては上記のとおりであるが、国立公園の生物多様性保全のへ向けた本事業は、各地域の個別の状況に応じた調整、管理検討を内容とし、その結果を踏まえて対策や関係者との合意形成を図りながら行うものであるため、単位当たりのコストを算出することにはなじまない。			算出根拠	—				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	鳥獣等保護費	55	55						
計	55	55							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	国立公園内の生物多様性の保全対策の体系化や総合的な事業展開をすすめて来ているが、引き続き、効率的、効果的な事業を実施するべく努めていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き効果的な事業実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
-			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
-			

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)



国立公園内における生物多様性保全の推進を通じ、優れた自然の風景地の保護及び適正な利用環境の維持を図るもの。

費目・使途
(「資金の流れ」
においてブロック
ごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載)

A.NPO法人日本チョウ類保全協会			E.(株)スペースビジョン研究所		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	指定動物(ミヤマシロチョウ)モニタリング等調査	1	雑役務費	平成22年度西大台利用調整地区調査検討業務	4
計		1	計		4
B.北電総合設計(株)			F.(財)広島県環境保健協会		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	平成22年度知床国立公園適正利用等検討調査業務	8	雑役務費	平成22年度瀬戸内海国立公園広島県地域ミヤジマトンボ生息地現況調査業務	2
計		8	計		2
C.(株)愛植物設計事務所			G.NPO法人 平戸観光ウェルカムガイド		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	平成21年度那須の森(仮称)生物多様性モニタリング等業務	10	雑役務費	平成22年度指定動物フォローアップ(タイワンツバメシジミ生息状況モニタリング)	1.5
計		10	計		1.5
D.環境科学(株)			H.(株)沖縄環境保全研究所		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	平成22年度白山国立公園外来植物分布把握業務	3	雑役務費	やんばる国立公園指定検討地域ウミガメ類調査	2
計		3	計		2

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人日本チョウ類保全協会	指定動物であるミヤマシロチョウの息調査を実施することで生息状況の把握を行い、今後の保護対策に資するもの。	1	少額随意契約	—

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北電総合設計(株)	知床世界自然遺産地域において、関係者の合意形成を図りつつ、利用適正化のためのルール作成、ルールの周知、利用実態・利用影響のモニタリング等を行うもの。	8	1	97.5
2	(財)知床財団	知床世界自然遺産地域において、関係者の合意形成を図りつつ、利用適正化のためのルール作成、ルールの周知、利用実態・利用影響のモニタリング等を行うもの。	6	1	99.1
		知床五湖の利用について、観光関係者(JATA)及び一般利用者向けに広報を行うもの。	1	少額随意契約	—

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)愛植物設計事務所	那須の森(仮称)において生物多様性モニタリング等を実施するもの。	10	企画競争	—
2	(株)野生動物保護管理事務所	富士箱根伊豆国立公園箱根地域における生態系維持回復のための調査を実施するもの。	6	企画競争	—
3	(株)コジマ NEW黒磯店	物品購入	1	少額随意契約	—
		物品購入	0.6	少額随意契約	—
		物品購入	0.3	少額随意契約	—
		物品購入	0.1	少額随意契約	—
		物品購入	0.1	少額随意契約	—
4	オーハシスポーツ	物品購入	1	少額随意契約	—
5	(株)地域環境計画	物品購入	1	少額随意契約	—
6	(有)イナバ	物品購入	0.3	少額随意契約	—
7	ニホンヤマネ保護研究グループ	那須平成の森樹上性動物について調査を行うもの。	0.3	少額随意契約	—
8	マップコンシェルジュ(株)	物品購入	0.1	少額随意契約	—
9	(株)コジマ NEW日光店	物品購入	0.1	少額随意契約	—
10	(有)大将	剥製作成	0.04	少額随意契約	—

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	環境科学(株)	白山国立公園における外来植物分布把握をするもの。	3	8	69.2
2	(株)ティエーシー	伊勢志摩国立公園における海域保全普及啓発するもの。	1	少額随意契約	—
3	(株)スペースビジョン研究所	白山国立公園での生態系維持回復に係る普及啓発するもの。	1	少額随意契約	—
4	環白山保護利用管理協会	白山国立公園における外来植物防除を実施するもの。	1	少額随意契約	—

E..

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)スペースビジョン研究所	西大台利用調整地区の設定による影響モニタリング等をするもの。	3	8	66.9
2	デジアナコミュニケーションズ(株)	利用調整地区のインターネット事前申請システムの維持管理するもの。	1	随意契約	—
		利用調整地区のインターネット事前申請システムの維持管理するもの。	1	随意契約	—
		利用調整地区のインターネット事前申請システムの子供料金制度対応等をするもの。	1	随意契約	—
3	(株)毎日コミュニケーションズ	吉野熊野国立公園等に関する資料作成及び既存文書の電子データ入力等作業の補助を行うもの。	2	3	56.8
4	(株)ビッグウエーブ	生物多様性関連業務等に関する資料作成及び既存文書の電子データ入力等作業の補助を行うもの。	1	7	48.1
5	環境設計(株)	大台ヶ原紹介ホームページの更新管理業務を行うもの。	1	随意契約	—
6	竹田印刷(株)関西事業部	西大台利用調整地区の入山レクチャー時に配布する資料の増刷するもの。	0.3	随意契約	—
7	(株)タカシマ	物品購入	0.1	随意契約	—
8	(株)巴商事	物品購入	0.1	随意契約	—
9	(株)ヤマダ電機 法人事業部 奈良営業所	物品購入	0.08	随意契約	—
10	(株)荒尾成文堂	物品購入	0.05	随意契約	—

F.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)広島県環境保健協会	絶滅が危惧されるミヤジマトンボの、今後の保護方策を検討するために欠かす事ができない基礎資料となる生息現況調査を実施するもの。	2	4	80.2
2	(財)しまね自然と環境財団	大山隠岐国立公園三瓶山地域において、指定動物に指定されているウスイロヒョウモンモドキについて、息調査を実施することで生息状況の把握を行い、今後の保護対策に資するもの。	1	随意契約	—

G.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人 平戸観光ウェルカムガイド	タイワンツバメシジミの生息環境を保全するため、食草であるシバハギの生息調査を実施し、具体的かつ詳細な野外データを収集・整理するもの。	1.5	随意契約	—
2	NPO法人 屋久島うみがめ館	ウミガメの屋久島島内での産卵場所移動を把握するための調査を実施し、屋久島に産卵に訪れるウミガメ及びその産卵場所の保全に資する知見を蓄積するもの。	1.5	随意契約	—

H.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)沖縄環境保全研究所	やんばる地域における海岸部でのウミガメの上陸・産卵状況を調査し、今後の国立公園区域および指定動物の検討に活用するもの。	2	2	65.2
		優れた海中景観を有する川平石崎海域公園地区における利用実態とその自然景観への影響を把握するとともに、本地域の適正な利用のあり方と的確な利用調整について検討するもの。	2	15	61.8